



発行 ● 狛江市政策室
〒201-8585 狛江市和泉本町1-1-5
☎3430-1111 FAX3430-6870
Email=wacco@city.komae.lg.jp

編集・制作 ● 特定非営利活動法人 k-press
〒201-0003 狛江市和泉本町1-35-3
ル・ミリオン・イイダ3階A号
☎3430-6617 FAX3430-6743

2021
令和3年

誌面に掲載した記事・写真等の無断複製・転載等はお断りします。
お問い合わせ・ご意見は狛江市政策室へ

市内で最初の高齢者福祉施設

社会福祉法人 狛江福祉会

市民の要望を受けて開設

社会福祉法人狛江福祉会(須田眞立理事長、岩戸南4-17-17 ☎3489-2404)は平成6年に設立、翌年に市内初の高齢者福祉施設としてオープンしたこまえ苑を運営している。

鉄筋コンクリート造り地上3階、地下1階建て、延べ床面積4,961㎡の建物には地下にボランティア控室、1階にデイルーム、機能訓練室、食堂、医務室、介護者教室、面接室、2階に居室、食堂、医務室、喫茶ルーム、地域交流スペース、3階に居室、食堂などがある。

現在、特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)、ショートステイ(短期入所生活介護)、デイサービス(通所介護)、認知症対応型通所介護)、ホームヘルプサービス(訪問介護)、ケアマネジャー(居宅介護支援事業)、地域包括支援センターの各事業を行っている。

同苑は、住み慣れた地域で暮らしたいという市民の強い要望と働きかけの結果、市が中心となって建設を計画し開設された。現在は、市民の願いに応えるために「喜



ばれ、選ばれ、信頼される施設」を目標として運営されている。

7年に高齢者デイサービスセンター開設、在宅介護支援センター事業を開始、10年に訪問介護事業所、12年に居宅介護支援事業所がそれぞれ事業を開始、20年に在宅介護支援センターの廃止に伴い地域包括支援センターが事業を開始した。

地域の福祉事業の拠点

特別養護老人ホームは定員80人で、居住スペースは個室12、2人室6、4人室14で、要介護認定を受けて家庭で生活するのが困難な人が入所している。できるだけ快適に生活できるように配慮すると共に、四季の行事や趣味活動などを行って潤いのある暮らしができるようにしている。また、本人や家族などの希望に応じて数年前から「看取り」を行い、住み慣れた所で穏やかに人生の最後を迎えられるようになった。



▷4◁

ている。

ケアマネジャーは介護保険に関わる相談事業を行っており、要介護と認定された人と生活の困っている点や機能を維持するための方法などを話し合いながらケアプランを作成している。

地域包括支援センターは



介護予防教室

狛江市の委託を受け、地域の人々が在宅で安心して暮らせるように様々な支援を行う相談窓口となっている。

また、地域に住む高齢者を対象にした福祉事業の拠点として、地域とのつながりを大切にし、介護予防教室をはじめとした数多くの地域活動を行っている。現在は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止されているが、認知症カフェを運営したり、市民団体が行う体操教室に会場を提供している。

市内に2つの特別養護老人ホーム

社会福祉法人 正吉福祉会

東京と神奈川で事業展開

社会福祉法人正吉福祉会(櫻井千馨理事長、稲城市平尾4-16-1 ☎042-331-2001)は昭和60年に設立、稲城市、狛江市、府中市などに8カ所の施設があり、東京都と神奈川県で在宅サービス事業を展開。狛江市ではこまえ正吉苑(毛尾ゆかり施設長、西野川2-27-23 ☎5438-0555)、こまえ正吉苑二番館(末代慎平施設長、西野川4-8-8 ☎5761-1040)を運営している。

こまえ正吉苑

こまえ正吉苑は平成14年に開設、鉄筋コンクリート造り地上3階建て、延べ床面積3,531㎡の建物には1階にデイサービス、地域包括支援センター、居宅介護支援センター、訪問看護ステーション、医務室など、2階と3階に特別養護老人ホームの居室などがある。

いつまでも自分らしく安心して生活が送れるように、特別養護老人ホームを中心に複数の在宅サービスが連携したトータルサービスを実践し、安心な暮らしを支えるため、自立支援の視点を



こまえ体操の講習(写真提供:こまえ正吉苑)

持って利用者に合わせたケアの提供、安心して生活できる地域の基盤づくりなどに努めている。

特別養護老人ホームは定員54人で、居住スペースは個室18、4人室9。生活の質と生活機能の維持向上を目指し、自分らしく自立した生活を送れるよう支援している。また、水分摂取、食事、体力作り、トイレなどの基本ケアを実施しているのも特色。季節の行事や活動などを行って生活に張り合いが出るようにしている。また、希望に応じて穏やかに人生が終えられるターミナルケアを行っている。

ショートステイは定員6人で個室2、4人室1。食事、入浴、健康チェックなどの支援を行い、利用者の体力回復、家族の負担軽減を行う。デイサービスは定員40人、認知症対応型12人。食事、趣味活動、ウォーキング、入浴などのサービスを提供している。リハビリは体力測定に基づいて利用者に合わせた運動メニューの提案を専門スタッフが行う。

地域包括支援センターは地域の相談窓口で、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるように介護、医療、保健、福祉などの支援を行っている。

居宅介護支援センター、訪



こまえ正吉苑

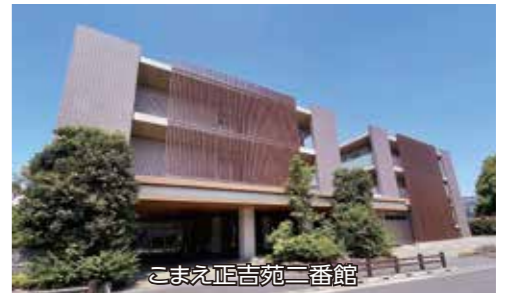
問看護、訪問介護などの事業も行っている。

地域とのつながりを重視し、介護予防教室など様々な地域活動を行っており、現在は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止しているが、認知症カフェの運営や市民団体の体操教室に会場を貸すなど、地域の高齢者を対象にした福祉事業の拠点になっている。

こまえ正吉苑二番館

こまえ正吉苑二番館は28年に旧狛江第七小学校の跡地に開設され、鉄筋コンクリート造り地上4階建て、延べ床面積5,754㎡の建物には1階にショートステイ、地域交流スペース、特別養護老人ホーム、事務所、厨房、2階と3階に特別養護老人ホーム、4階にスカイガーデンがある。

特別養護老人ホームは定員100人。全室個室で、利用者が自分らしく生活できるように個別ケアの手法を取り入れている。四季の食材を使った食事、高齢者向けのトレーニングマシンを使った個別機能訓



こまえ正吉苑二番館



いちようホール